

第3学年 音楽科学習指導案

音楽科研究室

題材名 曲の気分を感じよう
教材曲 「ちびっこカウボーイ」(阪田寛夫：作詞 アキレス：作曲)
「ゆかいな木きん」(小林純一：作詞 作曲者不明)
「ハックルベリーフィン」(「ミシシッピ組曲」より グローフェ作曲)

1 児童観

本学級の児童は、これまでの鑑賞活動において、「茶つみ」では、金管楽器の音色に触れ、楽器の特徴や音色の美しさを感じ取って聴くこと、「馬にのって」では、ふしの感じの違いを聴きながら「なめらかな感じ」「はねている感じ」などと感じとり、曲に合わせて身体表現をすることなどを学習してきた。

また、曲の気分を感じる活動においては、「おどるこねこ」や「エーデルワイス」などのリコーダー奏をする中で、なめらかな感じを感じたり、ゆったりした感じから「ふじ山」の雄大さを、味わって歌ったりする活動も行っている。

しかし、曲全体の気分を感じながら聴いたり、曲想を特徴づけている要素に着目して聴いたりすることはまだできていない。また、曲の気分をつかんで身体表現をすることも苦手である。

2 題材について

本題材は、合奏、歌唱、鑑賞のすべてにおいて、旋律やリズムなどに変化を持たせた曲である。そのために、児童は「曲の気分」が変化することを捉えやすいと考える。

合奏曲でまず、軽快なリズムや旋律に乗って「ゆかい」な感じをつかみながら楽曲を楽しみ、次にふれる歌唱曲においては、子どもたちと同世代の少年を歌った曲であることから、歌詞をもとに心情を捉えて歌い方を工夫することができる。

鑑賞曲では、前時までに学んだ「楽曲の気分」生かして、同じくらいの年齢である少年「ハックルベリーフィン」を題材とした曲を聴きながら、軽快なリズムや、親しみやすい主旋律、速さや強弱を中心とした要素を捉えながら、曲全体を味わって聴くことができるという点で、この題材を設定した。

3 教材について

「ゆかいな木きん」

曲想：木琴を丸木の一本に見立てて、「こざる」と「こぶた」が、ゆかに動いている様子



歌 詞：丸木にみたてた木琴の上を、こざるやこぶたがゆかに橋渡りする様子を描いた歌詞

形 式：A - B - A'
リズム：八分音符の連続、単調なリズム
旋 律：山型進行
拍 子：4分の2拍子
調 子：ハ長調
唱 法：マルカート奏
速 さ：四分音符=100～108

「ちびっこカウボーイ」

曲想 前半は軽快なリズムによる、明るい雰囲気を持ち、後半はなめらかな旋律で優しい気分を表している。



歌 詞：カウボーイの子どもの、無邪気な様子を歌った歌曲
 形 式：A - B
 リズム：前半部は付点のリズム、後半部は四分音符を中心にした
 ゆるやかなリズム
 旋 律：前半部は軽快な順次進行後に跳躍した旋律、後半部は主に
 3度の跳躍進行
 拍 子：4分の4拍子
 調 へ長調
 唱 法 前半部はスタッカート奏、後半部はレガート奏
 速 さ 四分音符=108 ~ 116

「ハックルベリーフィン」

曲想 ミシシッピ川中流から下流へと、いかだで旅をした少年ハックル
 ベリーの、好奇心にあふれた感じが、オーケストラの楽器によっ
 て表現された曲



形 態：弦楽5部
 形 式：A-B-A'
 リズム：付点音符が中心となった軽快なリズム
 旋 律：山型進行と谷型進行が交互に表されている
 拍 子：8分の6拍子
 調 ：ホ長調
 強 さ：mf ff pp mf ff
 唱 法：スタッカート奏。中間部では、付点のリズムがレガートに奏さ
 れる
 速 さ：Allegro moderate

教材解釈

構 成 要 素	曲想	
	ミシシッピ川中流から下流へと、いかだで旅をした少年ハックルベリーの、 好奇心にあふれた感じが、オーケストラの楽器によって表現された曲	
	リズム	旋律

付点のリズムが軽快に演奏されたり
 なめらかに演奏されたりしており、
 楽曲の気分の変化を感じ取りやす
 く、体でリズムを取ったりして曲
 に
 乗りやすい。

親しみやすい主題の旋律が、何度も繰
 り返し出てくることから、旋律を口ず
 さんだりすることができ、曲に親しん
 で楽曲を聴きやすい。

本教材で期待できる学習内容

手がかり	指 導 内 容
曲想	好奇心旺盛な少年の様子が表されている。陽気な感じからやや不 安な感じへと曲想が変わっていくことなどで、ハックルベリーフ インがどんな少年だったか楽しく想像しながら聴くことができ る。
リズム	付点のリズムが軽快に出てきたり、なめらかに出てきたりするこ とで、楽曲の気分の変化に気づきやすい。

旋律	同じ旋律が繰り返し出てくることで、覚えやすく、口ずさんだりして曲に親しみやすい。
----	--

4 指導にあたって

本題材の指導にあたっては、まず、つかむ段階では「ゆかいな木きん」で、楽曲の楽しく愉快な気分を感じ取って歌ったり合奏したりする。学習の中で、楽曲の気分が、歌詞や旋律から感じられるということに気づき表現できるようにする。

次に深める段階では、「ちびっこカウボーイ」で、歌詞から表現の仕方を工夫したり、感じた気分を身体表現したりする活動を仕組み、楽曲の要素に着目しながら歌ったり表現したりできるようにする。

最後に、味わう段階では「ハックルベリーフィン」で、楽曲の気分を感じ、十分に味わうことができるようにする。そのために、曲想を特徴付けている主要素に着目して、楽曲に合わせて身体表現をしたり、楽曲の気分のちがいを感じて聴きながら、様子を思い浮かべたりする。また曲全体を味わったり部分的に取り扱ったりしながら楽曲の気分の変化を感じ取る中で、楽曲に親しみをもち、口ずさんだり様子を想像したりしながら、自分なりの聴き方で楽曲に聴き浸らせていきたい。

5 指導目標

- 自分なりの聴き方で楽曲を聴いたり、曲の気分に合わせて歌ったり演奏したりしようとする。(音楽に対する関心・意欲・態度)
- 歌詞の表す様子を思い浮かべて、歌い方や楽器の演奏の仕方を工夫することができるようにする。(音楽的な感受や表現の工夫)
- 曲の気分合った歌い方や、楽器による演奏をすることができる。(表現の技能)
- 曲想を感じ取って、想像豊かに聴いたり表現したりすることができるようにする。(鑑賞の能力)

6 指導計画 (8時間)

段階	配時	主な学習活動と内容	教師の支援
つかむ	1	1 曲の感じをつかみ、主旋律の歌詞唱や階名唱をする。 みんな楽しく橋わたりができるような「ゆかいな木きん」を歌おう。	○リズムカルな曲の気分を感じ取って歌えるようにする。
		2 歌詞の内容を知り、主旋律を楽しく歌詞唱する。	○歌詞が表す場面の様子を想像できるようにする。
	2	1 合奏唱の範唱を聴く。 「ゆかいな木きん」で、楽しい楽きの橋わたりをしよう。	○学習内容を明らかにし、本時学習への意欲を持たせる。
		2 鍵盤楽器のパートを階名唱する。	○2小節、または4小節の短いフレーズごとに範唱を聴いて、模唱するようにする。
		3 パートの部分を、鍵盤ハーモニカや木琴で演奏する。	○鍵盤ハーモニカでは2拍子の拍の流れを感じ取って、スムーズな運指で演奏できるようにし、木琴では、ばちの持ち方や打ち方を正しくできるようにする。
	4 いろいろな楽器のパートを演奏する。	○リコーダーやオルガン、打楽器のパートなど、楽器の台数に合わせて交代しながら、全員が楽器に触れるようにする。	
	5 楽しく合奏をする。	○パートや楽器を選び、演奏をする。	
ふかめ	1	1 範唱を聴き、曲の感じをつかむ。 「ちびっこカウボーイ」の気持ちが伝わるように、歌い方をくふうしよう。	○リズムに乗って、体を動かしながら聴くようにする。
		2 カウボーイについて知っていることを出し合う。	○挿絵をもとに考えさせる。

る		<p>3 主旋律を覚えて歌う。</p> <p>4 歌詞から想像した様子に合った歌い方をする。</p>	<p>○音程が取りにくいところは、繰り返し練習するなどして、旋律をはっきり捉えるようにする。</p> <p>○1番と2番の歌詞の違いに気づくようにし、カウボーイの気持ちになりきって歌うようにする。</p>
味 わ う	1 (本時)	<p>1 ミシシッピ川の写真と、ハックルベリーの絵を見る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きな川だな ・ぼくたちくらいの子 ・楽しそうだなあ <p>いたずら好きでとっても元気な「ハックルベリーフィン」が、どんなことをしているか想像しながら</p> <p>2 絵などから感じたイメージを手がかりに、この曲に登場する男子「ハックルベリーフィン」が、何をしている様子なのかを想像しながら曲を聴く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いたずら好きな感じ ・いたずらが分かって、おこられているみたい ・川を筏で下っているのかな <p>3 ハックルベリーフィンの様子が分かるのはなぜか、要素に視点を当てて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いつも出てくるメロディーは、ハックルベリーフィンが何かをしているみたい ・音が急に小さくなっているから曲の感じが変わってきこえるのかな ・元気いっぱいの感じがするのは、リズムがはずんでいるからかな <p>4 繰り返し出てくるメロディーを口ずさみ、曲に親しみをもち、</p>	<p>○広大な自然の中を流れる川の写真と、ハックルベリーフィンが、友だちのトム・ソーヤの絵を見せ、楽曲に対して共通のイメージを持たせる。</p> <p>○階名唱をしたりして、旋律をとらえやすくする。</p> <p>○それぞれのパートに分かれ、お互いの音を聴きながら演奏できるようにする。</p> <p>○曲を聴いて感じたことを自由に、出させる。</p> <p>◎「この曲を聴いて、ハックルベリーフィンが何をしている感じの曲だと思いますか」</p> <p>※曲から感じられる気分を、ワークシートに表すことができる関(ワークシート)</p> <p>(A: 楽曲から「わくわくする感じ」「元気がいい」「音の大きさが変わるところがある」など、曲の表す気分や変化を感じ取ることが出来る。B: 「元気がいい」など、曲の気分の大体を感じ取ることが出来る)</p> <p>◎「『元気がいい感じ』にきこえるのは、なぜだと思いますか」</p> <p>※意欲的に発言している関(観察)</p> <p>(A: 変わるところ…音が小さくなる場所…が言える、リズムが付点であることに気づいている、等 B: 音の大きさの変化や、リズムの感じの大体をつかんでいる)</p> <p>○必要に応じて繰り返し聴かせながら、気づいたことをワークシートに書かせる。</p> <p>○ハックルベリーフィンの様子を捉えやすいように部分を口ずさませて、</p>



- 5 くりかえし出てくるメロディーに、合った動きを考えて身体表現をする。
- ・行進するように、足踏みしたらいいね
 - ・うでをふったら、元気いっぱいの感じがするよ

- 6 くりかえし出てくるメロディーの間の、動きが合わない部分の身体表現を、グループごとに考える。



- ・静かになるところは、体を小さくしてみようか
- ・しのびこんでみたいだから、そっと小さく動けばいいよ

- 7 考えた動きをグループごとに出し合う。

- 8 活動を振り返りながら、楽曲に聴き浸る。

曲に親しみを持たせる。

※曲に合わせて、主な旋律を口ずさむことができる関(観察)

(A:軽快な拍の流れにそって、体を動かしたりしながら口ずさんでいる B:旋律に合わせて口ずさもうとしている)

○楽曲の気分を表している主要素を確かめ、曲想とどのように結びついているか捉えられるようにする。

◎「元気いっぱいの感じを出すには、どんな風に動けばいいでしょう。」

※意欲的に発言したり体を動かしたりしている関(観察)

(A:リズムに合った動きを意欲的に発表したり動作化したりしている B:友だちの意見を参考に、体を動かしている)

○はずんだ感じだから元気よくリズムに乗って動く、小さな音でゆっくりした速さだから、静かにそっと動く、などと、楽曲の要素と動きをつなげられるように提示したり、曲の気分の変化による楽曲の構成が視覚的に捉えることができるよう、板書の工夫をしたりする。

○グループごとに活動しながら、表現の苦手な子も楽しく参加できるようにする。

◎「曲の中で、ハックルベリーフィンは何をして、どんな風に動いているのでしょうか」

※意欲的に発言したり体を動かしたりしている関(観察) (A:リズムに合った動きを意欲的に考え出したり動作化したりしている B:友だちの意見を参考に、体を動かしている)

○見るグループと動くグループの交互に分かれ、友だちのよさを見つけるようにする。

◎「他のグループで、ハックルベリーフィンらしい動きが分かるころはどこかさがしてみましよう」

※友だちのよさを見つけようと、真剣に見ている関(観察)

(A:体でリズムを取ったりしながら、よさを見つけようと友だちの動きを真剣に見ている B:友だちの動きを真剣に見ている)

○身体表現を振り返りながら、自分の場所でしっかり聴くようにする。

◎「曲にしっかり耳をすませて、ハックルベリーフィンの様子を思い浮かべましよう」

※楽曲に真剣に耳を傾けている関(観

		<p>察) (A:目をとじたり、軽くリズムを取ったりしながら曲を聴いている B:じっと曲に耳をすましている)</p>
1	<p>1 前時学習を想起し、「ハックルベリーフィン」を聴く。</p>	<p>○要素とつなぎながら曲の気分を感じ取りながら、身体表現した様子を想起させながら聴くようにする。</p>
	<p>「ハックルベリーフィン」の作曲者の曲の、気分を感じてきこう。</p>	
	<p>2 「ハックルベリーフィン」の作曲家、グローフェの「グランドキャニオン組曲」より「サンライズ」を聴く。</p>	<p>○楽曲の気分を感じながら聴くようにする。 ◎「この曲も、『ハックルベリーフィン』のように、様子を表した曲ですが、何の様子を表しているか、考えながら聴いてみましょう」 ※楽曲に真剣に耳を傾けている鑑(観察) (A:体を揺らしたり目を閉じたりしながら、真剣に曲を聴いている B:静かに曲を聴いている)</p>
	<p>3 どんな様子を表しているか、自分の考えを出し合う。 ・鳥の声のような楽器の音がしたよ ・曲の最後で、音がどんどん大きくなって盛り上がっていったよ</p>	<p>○楽曲の気分の感じを表している要素に着目しながら発言できるようにする。 ◎「どんな感じがするか、耳をすまして聴いてみましょう」 ※自分の考えを意欲的に発表している。関(観察) (A:楽曲を特徴づける要素と関連づけながら発言している B:自分の感じたことを意欲的に発表している)</p>
	<p>4 曲名を知らせて曲を再び聴き、曲の感じを出し合う。 ・朝、鳥が鳴いている用に、楽器が聞こえてくるよ ・どんどん音が大きくなるから、太陽がどんだんのぼってくるみたい ・繰り返してでくるメロディーがあるね</p>	<p>○楽曲を特徴づける要素に着目させながら、曲の感じをつかむようにする。 ◎「『朝がやってくる様子が、どんなところから分かるか考えながら聴いてみましょう」 ※楽曲に真剣に耳を傾けている。鑑(観察) ※楽曲の要素をもとに、曲の感じをつかんでいる。感(ワークシート) (A:体を揺らしたり目を閉じたりしながら、真剣に曲を聴いている B:静かに曲を聴いている)</p>
	<p>5 感じ取ったことを振り返りながら曲を聴く。</p>	<p>○学習の中で出た要素を振り返りながら曲を聴くようにする。 ◎「『ハックルベリーフィン』の時のように、同じメロディーが出てくるところなどに気をつけてきいてみましょう」 ※楽曲に真剣に耳を傾けている。鑑(観察) (A:体を揺らしたり目を閉じたりし</p>

	<p>6 学習を振り返りながらワークシートにまとめる。</p>	<p>ながら、真剣に曲を聴いている B：静かに曲を聴いている) ○曲の感じが、どんなことから分かるかなど、詳しく書くようにする。 ※楽曲を特徴づける要素に着目して、ワークシートにまとめることができる。感(ワークシート) (A：曲の要素を捉えた振り返りを書くことができる B：曲の感じをつかんでまとめを書くことができる)</p>
--	---------------------------------	---

7 本時

平成 18 年 10 月 23 日 (月) 5 校時 14 時 10 分より 音楽室

8 本時目標

- 楽器の音色や曲想の変化を感じながら、楽しく聴くことができる。(音楽に対する関心・意欲・態度)
- 楽曲の気分を感じて、場面の様子を自分なりに想像したり表現したりして聴くことができる。(音楽的な感受や表現の工夫)

9 本時指導の考え方

本時指導にあたっては、曲に対して共通のイメージをもたせ聴く意欲を高める。そのために、情景画を提示したり、曲の題材となっている少年「ハックルベリーフィン」についての話をしたりして、興味を持たせるようにする。

次に曲を聴き、曲の感じを出し合いながら、なぜそう感じるのかを要素に着目して捉えさせるようにする。

さらに、「ハックルベリーフィン」が何をしているかを、要素から醸し出された曲想を感じ取りながら身体表現する。

最後にまとめとして、自分の聴き方で曲に聴き浸りながら、学習活動を振り返らせる。

1 0 準備 川の情景図 ハックルベリーフィンの絵 少年のお面 CD「ハックルベリーフィン」 ワークシート

1 1 展開

主な学習活動と内容	教師の支援と評価 ※評価基準 関…音楽への関心・意欲・態度 感…音楽的な感受・表現の工夫 鑑…鑑賞の能力 評価方法()
<p>1 ミシシッピ川の写真と、ハックルベリーフィンの絵を見る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きな川だな ・ぼくたちくらいの年 ・楽しそうだなあ 	<p>○広大な自然の中を流れる川の写真と、ハックルベリーフィンが、友だちのトム・ソーヤの絵を見せ、楽曲に対して共通のイメージを持たせる。</p>
<p>いたずら好きでとっても元気な「ハックルベリーフィン」が、どんなことをしているか想像しながらきこう。</p>	
<p>2 絵などから感じたイメージを手がかりに、この曲に登場する男の子「ハックルベリーフィン」が、何をしている様子なのかを想像しながら曲を聴く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いたずら好きな感じ ・いたずらが分かって、おこられているみたい ・川を筏で下っているのかな 	<p>○曲を聴いて感じたことを自由に、出させる。 ◎「この曲を聴いて、ハックルベリーフィンが何をしている感じの曲だと思いますか」 ※曲から感じられる気分を、ワークシートに表すことができる感(ワークシート)</p>
<p>3 ハックルベリーフィンの様子が分かる</p>	<p>○これまでの学習を振り返り、リズムの</p>

のはなぜか、要素に視点を当てて考える。

- ・いつも出てくるメロディーは、ハックルベリーフィンが何かをしているみたい
- ・音が急に小さくなっているから曲の感じが変わって聞こえるのかな
- ・元気いっぱいの感じがするのはリズムがはずんでいるからかな

- 4 繰り返し出てくるメロディーを口ずさみ、曲に親しみをもち。



- 5 くりかえし出てくるメロディーに、合った動きを考えて身体表現をする。

- ・行進するように、足踏みしたらいいね
- ・うでをふったら、元気いっぱいの感じがするよ

- 6 くりかえし出てくるメロディーの間の動きが合わない部分の身体表現を、グループごとに考える。



- 7 考えた動きを、グループごとに出し合う。

- 8 活動を振り返りながら、楽曲に聴き浸る。

感じや、楽器の音色などの要素に触れながら、曲の気分とつなげて考えるようにする。

◎『元気がいい感じ』に聞こえるのは、なぜだと思いますか

※意欲的に発言している関(観察)

○ハックルベリーフィンの様子を捉えやすいように部分を口ずさませて、曲に親しみをもちさせる。

※曲に合わせて、主な旋律を口ずさむことができる関(観察)

○楽曲の気分を表している主な要素を確かめ、曲想とどのように結びついているか捉えられるようにする。

◎「元気いっぱいの感じを出すには、どんな風に動けばいいでしょう。」

※意欲的に発言したり体を動かしたりしている関(観察)

○はずんだ感じだから元気よくリズムに乗って動く、小さな音でゆっくりした速さだから、静かにそっと動く、などと、楽曲の要素と動きをつなげられるように提示したり、曲の気分の変化による楽曲の構成が視覚的に捉えることができるよう、板書の工夫をしたりする。

○グループごとに活動しながら、表現の苦手な子も楽しく参加できるようにする。

○見るグループと動くグループの交互に分かれ、友だちのよさを見つけるようにする。

◎「他のグループで、ハックルベリーフィンらしい動きが分かるところはどこかさがしてみましょう」

※友だちのよさを見つけようと、真剣に見ている関(観察)

○身体表現を振り返りながら、自分の場所ですっかり聴くようにする。

◎「曲にしっかり耳をすませて、ハックルベリーフィンの様子を思い浮かべましょう」

※楽曲に真剣に耳を傾けている鑑(観察)